

「わたしたちの市のようす」

指導目標	<p>◎市の土地の様子や、各区の様子について調べようとする。</p> <p>◎市内の主な公共施設や観光施設について調べ、役割や場所などについて表現を工夫してまとめることができる。</p> <p>◎施設を利用するいろいろな人のために、交通の利便性を考えて街がつくられていることについて考えることができる。</p> <p>◎市の地形の特徴や、各区の様子、交通の様子が分かる。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>交通の様子を調べる中で、自分たちの住んでいる市と近隣市との結びつきに気づき、市に公共交通があることのよさを考えることを通じて、市の公共交通は自分たちの生活の足になっていることを考えることができる。</p>
対象学年	3年生
対応教科	社会科
標準校時	10コマ
学習構成	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">1. 市の地形のひみつを調べる</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空写真等を用いて市の地形の特徴を調べ、場所によってどのような違いがあるか考える。 <p style="text-align: center;">2. それぞれの地域の特徴を見つける</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地のつくりや公共施設、観光施設など、市内のそれぞれの地域（区）の特徴を調べて、他の地域との違いを考える。 <p style="text-align: center;">3. 市の公共施設と公共交通</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄沿線に公共施設や観光施設が多いことを知る。 ・公共交通には、地下鉄の他にバスもあることに気づき、バス停の数の多さを学習することでバスのよさを考える。 ・地下鉄とバスがいろいろな場所に連絡しており、市民の生活を便利にしていることに気付く。 <p style="text-align: center;">4. 市の自慢カードを作成し、発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の自慢カードを作成し、みんなに発表する。 </div>

札幌らしい交通環境学習とは、「MM※教育」に着目し、「交通」の中に存在する「社会的ジレンマ問題」を通じ、広く、環境意識や公共の精神を醸成することを目的としている。初等教育における学習教材として適することが、これまでの研究事例等で明らかとなっている。

※「MM」とは、一人ひとりの移動（モビリティ）が、個人的にも社会的にも望ましい方向へ自発的に変化することを促すコミュニケーションを中心とした交通施策。

■実施例

実施校 札幌市立福住小学校

実施日 2013年10月17日（木） 5校時

科目/単元名 社会「わたしたちの市のようす」

[10時間扱い 本時9/10]

指導者 河原 秀樹

[指導計画]

1.教材にかかわって

①学習指導要領の位置づけ

[小学校学習指導要領解説 社会編]

●目標（3）

地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

●内容（1）

自分たちの住んでいる身近な地域や市（区、町、村）について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。

●内容（ア）

身近な地域や市（区、町、村）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

「交通の様子」を調べるとは、身近な地域や市で生活している人々などが利用している主な道路や鉄道などを取り上げ、観察、調査したり地図などを活用したりして、それらの名称や主な経路などを具体的に調べ、白地図に書き表すことである。交通の様子について調べる際には、身近な駅やバス停とその周りの様子を観察、調査したり電車バスなどの路線図や時刻表を手掛かりにしたりして、自分たちの住んでいる市と近隣の市との結びつきに気付くようにすることが考えられる。

②モビリティ・マネジメント教育の視点から

子どもたちは普段の生活の中で、自動車をよく利用し、便利さを実感している。その一方で、生活圏には地下鉄福住駅があり、地下鉄があると、時間通りに移動できることや冬の気候にも左右されずに移動できるよさも体感している。福住駅ができたことにより、駅周辺にはマンションが立ち並んだり、札幌ドームへアクセスしやすくなったりしていることにも気付いている。

しかし、地域にある羊ヶ丘通りや国道36号線、福住桑園通や福住中央通など、大きな道路が多数存在し、たくさんのバス路線があることにはなかなか目を向けていない。

自分たちの地域には、バスという公共交通があるという視点を加えることにより、目的に合わせて利用する交通手段を選べることに気付いていく子どもの姿を求めていくことが大切である。

③資料の活用

本実践は公共交通の中でも、子どもたちがあまり利用することのないバスについて考えることで、地下鉄のよさと、バスのよさの両面に気付いていけることを狙っている。そのために、路線図や、バス停の時刻表などを手掛かりにして学びを進めていく。

2. 単元にかかわって

●単元の見どころ

- 札幌市の土地の様子や、各区の様子について調べようとする。
- 札幌市内の主な公共施設や観光施設について調べ、役割や場所などについて表現を工夫してまとめることができる。
- 施設を利用するいろいろな人のために、交通の利便性を考えて街がつくられていることについて考えることができる。
- 札幌市の地形の特徴や、各区の様子、交通の様子が分かる。

●単元の構成

札幌市の土地利用の様子【2時間】

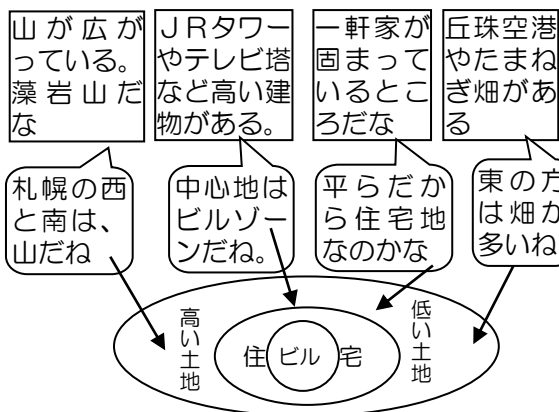
札幌市10区の様子【5時間】

子どもの主な活動

札幌市ってどんなまち？

第1次 札幌の地形のひみつを調べよう

航空写真を見て、
札幌の地形の特徴を調べよう



札幌市内の様子は、場所によってずいぶんちがいがあんだね。10の区の様子をくわしく調べてみよう。

第2次 10の区の様子を調べよう

それぞれの区の様子を
調べよう

南区 とても広い自然山 定山溪ダム	東区 たまねぎ畑 モエシ沼公園 さくらんど 丘珠空港	西区 農試公園 琴似発寒川
北区 北海道大学 防風林	中央区 観光地 ビル デパート JR札幌駅	豊平区 札幌ドーム りんご並木

子どもの主な活動

清田区 住宅地 平岡公園	手稲区 手稲山 手稲稲積公園 手稲プール	白石区 国道12号線 物流	厚別区 開拓の村 青少年科学館
--------------------	-------------------------------	---------------------	-----------------------

公共施設や観光施設はたくさんあるんだね。それぞれの場所やどんな施設なのかがわかったぞ。

第3次 札幌市の公共交通を調べよう

なぜ公共施設や観光施設は
地下鉄のまわりに多いのかな？



札幌市にバスがあること
よさって何だろう？



札幌市の公共交通っていろいろな場所をつないでいて、すごいな。今度乗って出かけてみたい。

札幌市の自慢カードを作って
みんなに発表しよう。

札幌市の公共施設と公共交通【3時間】

3. 本時の目標と学習展開

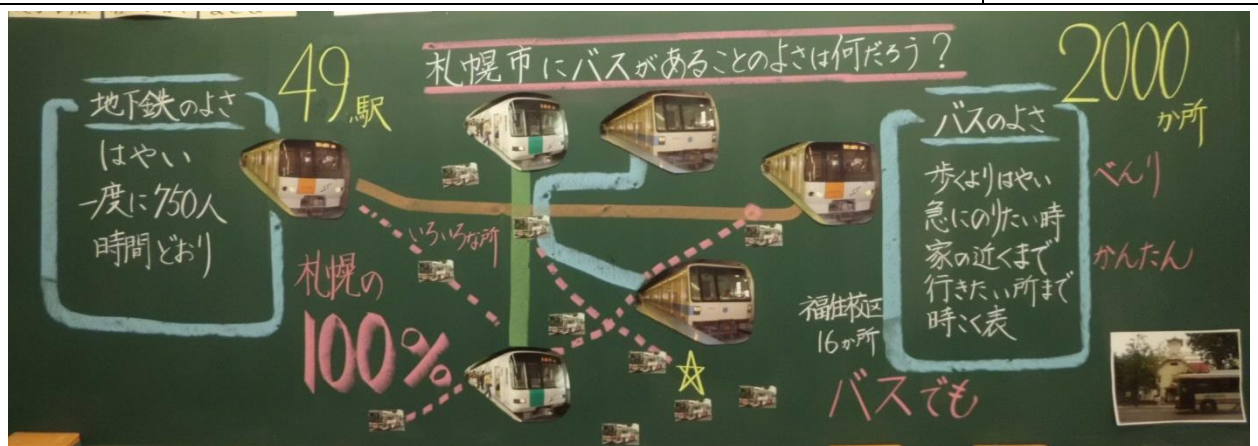
●目標

- 札幌市に公共交通（地下鉄・バス）があることよさを考える活動を通して、札幌市の公共交通は自分たちの生活の足となっていることを考えることができる。（思考・判断・表現）

●展開

学習展開		教師のかかわり
<p>（前時まで） 前時までの学習 札幌市のようにすをさくろう その①土地のつくり 南西は山！北東は平ら！豊平川が流れてる！ その②区ごとのようす 区によってとくちょうがちがった！ その③公共しせつ 地下鉄のそばにあって利用しやすい！</p>		<ul style="list-style-type: none"> 公共交通とは何かを振り返る。 地下鉄のよさを想起していく。 子どもがあまり利用しないバスのよさを考えるようにする。 福住小学校校区にある地下鉄駅の数とバス停の数を数え、バス停の数の多さに気付かせる。 停留所にある行き先や時刻表を用いて、具体的な経路を視覚的に分かるようにしていく。 地下鉄でもバスでも同じ場所に行けることよさを考えていく。 公共交通で札幌市のほぼ100%カバーされていることに気付くようにする。
<p>地下鉄は一度に750人もはこべる。便利だよ。</p> 	<p>地下鉄 札幌市の公共交通</p> <p>バスはあまり利用することがないよ。</p>  <p>バスのよさって何かな？</p>	
<p>札幌市にバスがあることよさって何だろう？</p>		
<p>地下鉄のよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 一度にたくさん 冬でも安心 公共施設へすぐ行ける 時間通り 	 <p>えらんで使うとべんりだ！！</p>	<p>バスのよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> 地下鉄から遠い人も 地下鉄の駅と駅の間 近い距離も行ける 家から近いと便利 新千歳空港にも行ける
<p>学校から真駒内までは、地下鉄で行くより、バスの方が早い。</p>	<p>地下鉄とバスは札幌の足になっている！！ 公共交通のカバー率 バス停約2000</p> <p>札幌市のほぼ100%行けるなんてすごい。</p>	<p>学校の前から大通や札幌駅まで行けるんだ。</p>
<p>地下鉄49駅</p> <p>地下鉄とバスが両方あると、札幌市民の生活がべんりになるね。今度、乗って出かけてみたいな。</p>		

板書計画



地下鉄のよさ 49 駅

はやい
一度に750人
時間通り

札幌の 100%

札幌市にバスがあることよさは何だろう？

バスのよさ 2000 か所

歩くはやい
急にのびたい時
家の近くまで
行きたい所まで
時刻表

福住校区 16 か所

バスでも

4.本時で活用する資料

●本時で活用する資料

地下鉄地図

札幌市
バス路線図

福住地区
バス時刻表

福住地区
バス停写真